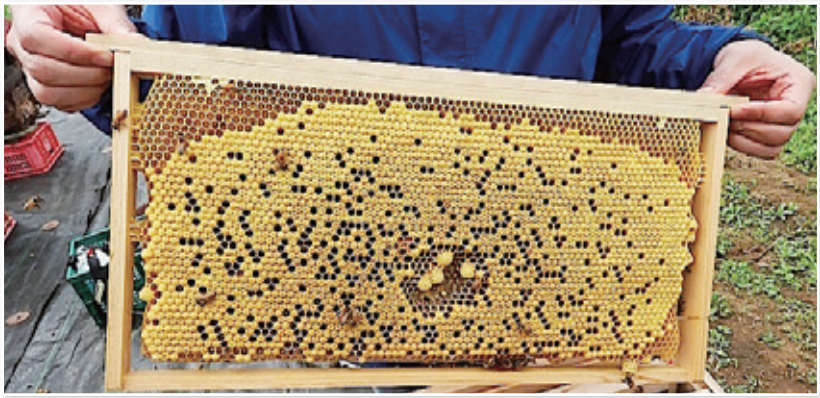
療育教室から発信

はっぴい新聞

児童発達支援　放課後等デイサービス

エイビイシイ ひまわり教室
社会福祉法人杉の子会

11月号
2023 vol.44



「ミツバチを救え」～人とミツバチが共生する環境を守ること～

ミツバチが生存できなくなることが人にも悪影響を及ぼすという話を聞いたことありますか？

2005年、2010年夏、日本ミツバチが大量に死ぬ被害がニュースになりました。地球温暖化、複合汚染なども原因ではありますが、大きな原因は農薬です。それ以前からも農薬にやられると蜂の免疫性が落ちたり、ダニに対する抵抗性がなくなるということも言われていました。そして特に有機リン系の農薬はミツバチの神経の興奮状態を引き起こしてしまいます。これは、ミツバチが死ぬということで終わる話ではなく、ミツバチの大量死の影響は人間にも返ってきます。

ミツバチは一日に数十回、巣箱と花の間を往復します。蜜と一緒に花の花粉も集めて受粉を助けています。花粉はミツバチにとっては幼虫のたんぱく源なので花粉がないと生きていけないのです。また、ミツバチのような昆虫がいないと多くの米、野菜、果物は実がなりません。高校時代、『生物』の教科書に『食物連鎖』とか『生態系』という話を聞いたことがあると思います。農薬が生態系に与える影響は非常に大きいと言われています。生態系の底辺を担っているのが昆虫なのでミツバチなどの昆虫がいなくなったら、その上の生物は生活できずに生態系が崩れてしまいます。食物連鎖とは、体の中で分解できないものは体の中で溜まり、上の捕食者が食べたらそれが、また溜まります。上へ行けば行くほど蓄積していくのです。そして、最終的には人間の体に蓄積して人間に返ってきます。

日頃から食べている米、野菜などの残留農薬を計測する機械もなく、米や野菜を洗っても内部まで浸透するので落ちることはありません。残留農薬の基準値も海外と比較すると日本は非常に低いです。また、食べることはなくても、農薬が定期的に散布される地域に住んでいると、その時期になると体調不良を訴える人もいます。（化学物質過敏症）特に、農薬散布や残留農薬のある食事の影響で子どもの脳（胎児、乳幼児）は大きなダメージを受けるというデータも出てきています。人の脳は、化学物質に非常に弱いと言えます。

今までミツバチが危機に陥っていること、ミツバチは私たちに警告をもたらしています。ミツバチを思い浮かべた時、人を刺すといったイメージを浮かべることが多いですが、ミツバチは仲間と認めた人たちには静かに蜜を分け与える存在です。人とミツバチが共生できる環境を守っていきたいです。

Instagram　You Tube

https://abc24.jp

放課後等デイサービス

防災訓練

ひまわり教室では年2回防災訓練を行っています。今回は地震を想定した訓練を行いました。お子様からは「また避難訓練？」「もうわかっているからやらなくて大丈夫」といった声も聞かれましたが、「実際に地震が起こったときに慌てずに動けるよう何度も練習をする」ことを説明すると真剣に参加してもらうことができました。
首都直下地震のシミュレーション動画を視聴した際には、想像以上の揺れや被害の大きさに驚きの表情を見せるお子様もいました。少し怖い動画だったかもしれませんが、地震に対して正しい認識をもって備えるためリアリティのある動画を選びました。
とっさに頭を守る行動をとること、避難時に「お」（押さない）「か」（駆けない）「し」（喋らない）「も」（戻らない）「ち」（近づかない）の約束を守ることなど、再確認することができました。

体力測定

0月は体力測定を行いました。「反復横跳び」「立ち幅跳び」「垂直跳び」「ポンポン投げ」といったこれまでの種目に加え、新たに「両足連続跳び」「体支持持久力」を行いました。
体力測定全般の約束として、「人の記録と比べるのではなく、自分の記録を伸ばすことに意識を向ける」「思い通りにできなくても怒らず、次にどうすればうまくいくかを考える」「チクチク言葉は使わない」ということを確認してから各種目に挑戦しました。
「両足連続跳び」は15秒以内に障害物をいくつ跳び越えられるかを測る種目で、素早く続けてジャンプする“俊敏性”や狙った場所に着地する“目と体の協応“などの能力を使います。始まりから終わりまで、一定のペースで跳び続けられるかといった”持久力“も関係しています。
「体支持持久力」は両脇に設置した机に手を置いて、腕の力だけで体を支えられる時間を計測します。上半身の筋力が試される種目ですが、同じくらい“行動を持続する能力”を測っているともいわれています。
運動というと、身体能力ばかりに注目しがちですが、粘り強さや失敗から学んで工夫する力など精神面についても知ることができます。
今後も定期的に体力測定を実施し、お子様の成長を記録していければと思います。

子育てハート便

保育士　池本

こんにちは。放課後等デイサービスで指導員をしております、池本歩と申します。
最近、テレビで来年のパリオリンピックに向けてバスケットボールやバレーボールの試合を観ました。バスケでは、逆転勝利するなど日本の粘り強さに感動しました。身長では勝てなくても小柄なことを強みにして、スピードや3ポイントシュートで戦う選手もいて圧巻でした。バレーボールの女子の大会では惜しくもオリンピック出場権を逃してしまいましたが、試合の中では素晴らしいプレーがたくさんありました。どのスポーツにおいても最後まで諦めないということが伝わり、とても感動しました。
教室では、子どもたちの成長と共に自分自身も成長できるようにしていきたいと思います。まだまだ至らない点も多くございますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

WISC-Ⅳ
知能検査

お子様が才能を発揮できる環境を知る

対象：5歳～16歳11ヶ月
料金：5,000円
公認心理師：金井